

# 平成30年度沖縄県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技監督会

日時：平成30年5月11日(金)

場所：沖縄県立真和志高等学校

1. 専門部長あいさつ・・・黒島 直人(沖縄県立真和志高等学校)

## 2. 議題

### (1) 競技運営について

- a. 競技はすべて日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに則って行う。
- b. 団体戦はベスト4までトーナメント方式で行い、その後はリーグ戦を行う。全試合7ゲームマッチとする。
- c. 個人戦は、ベスト16まではトーナメント方式、それ以降はブロックリーグ及びトーナメント方式で全7ゲームマッチとする。
- d. 団体戦は3ペア対抗の点取り方式とし、オーダーは毎試合提出する。ただし、2試合目以降は2ペア先取とする。
- e. 到着受付は、団体戦・個人戦とも8：30分までに行う。
- f. 選手変更は所定の用紙に記入の上、監督または引率者より大会競技委員長に提出し、必ず承認を受けなければならない。
- g. 競技の進行と方法については変更することがある。
- h. 本大会においての男女団体優勝チーム及び個人ベスト6のペアを全国総体(三重)に、団体優勝・準優勝チーム及び個人ベスト8のペアを九州総体(宮崎)に沖縄県代表として派遣する。

### (2) 組み合わせについて

- a. 団体戦 → 新人大会の結果によりシードを決定する。
- b. 個人戦については本部一任とする。(ジャパンカップと新人大会の結果を点数化してシードを決める。)

### (3) 緊急時の対応について

- a. **緊急時本部で救急車の要請はするが基本的には各学校での対応をお願いします。**

### (4) 会場及び競技日程について 県総合運動公園庭球場

- a. 5/26(土)団体戦、5/27(日)、5/28(月)個人戦 ※5/29(火)、5/30(水)予備日

### (5) 審判員について

- a. 団体戦については、学連の審判員で行う。
- b. 個人戦については敗者審判とし、準々決勝・準決勝・決勝は学連の審判員で行う。

### (6) 試合順序・進行について

- a. コート割り、試合順序は原則としてトーナメント表の通り実施する。
- b. 選手の呼び出しは原則として行わないので、進行状況に十分注意し、コート近くで待機しておくこと。
- c. 審判員が所定の位置についた後3分以上経過しても選手がコートに来ない時は、棄権扱いとする場合もある。
- d. 団体戦は、決勝リーグのみ2面展開で行う。ただし、天候不良などの場合は2～3面展開で行う場合もある。

### (7) 団体戦のオーダーについて

- a. オーダー用紙は1部作成し、挨拶時に審判に提出する。
- b. 選手名はフルネームで記入すること。

### (8) 試合球について(毎年男女で交代)

- a. 男子 ケンコー 女子は アカエム とする。

### (9) ベンチについて

- a. ベンチに入れるのは団体戦では監督と選手とし、個人戦では監督又は登録済コーチ、顧問等で最大2人までとする。ただし、1ペアにつき1名とする。
- b. ベンチは番号の小さい方が北側(斜面)とする。(ユイ池側が南)

### (10) 試合マナーについて

- a. マッチ中のコーチはサイドチェンジの時とファイナルゲームに入る場合に認められる。ただし1分以内とする。
- b. コートマナーを守り、サーブ直前の不必要な掛け声・相手に対して威嚇するようなポーズは慎むこと。  
なお、応援者も相手選手が不愉快になるような言葉は慎むこと。**※試合後は握手で互いの健闘を称える。**
- c. 審判の判定に対する質問は、団体戦の時は監督または選手が、個人戦の時は選手が行う。
- d. 競技用具、ユニフォーム、校名マークは大会要項に示されたことを守ること。
- e. ゼッケンについては、(公財)日本ソフトテニス連盟公認のもの(氏名入り)を着用する。

### (11) 登録について

- a. **出場選手及び監督は(公財)日本ソフトテニス連盟に必ず登録すること。**